



# 上 学



No. 3 6月発行

文責 早川 大介【校長】

令和8年度重点目標

未来につなげる力の育成 ～ONE TEAMでつなぐ9年間の学びの教育～

## 「きまり」と「ルール」

学校には、学習や生活に関するさまざまな「きまり」があります。授業の始まりに席に着く、話をしている人の方向を向いて聞く、学習道具を準備する、そして一人一台のタブレットを正しく使う、などです。

子供たちの中には、「どうしてこんなきまりがあるのだろう」「もっと自由にやりたい」と思う子もいるかもしれませんが、学校のきまりは子供たちを縛るためのものではありません。みんなが安心して学び、気持ちよく学校生活を送るためにあるのです。

私たちの社会には、多くの「ルール」があります。例えば交通ルールです。信号機や横断歩道は、行動を制限するためのものではありません。もし誰もが自分の判断だけで道路を渡れば、事故が起こり、多くの人が危険に遭います。ルールがあるからこそ、安全が守られ、安心して生活ができます。これは学校のきまりも同じです。授業中に一人が勝手に歩き回れば、周りの友達は集中できません。学習のきまりは、お互いの学ぶ権利を守るための約束といえます。

現在、タブレットを活用した学習が当たり前となりました。タブレットは子供たちの学びを広げる大きな可能性を持つ一方、便利な道具だからこそ、使い方には責任が伴います。授業中に関係のない動画を見たり、ゲームをしたりすれば、自分だけでなく周囲の集中も妨げます。また、インターネットには誤った情報や有害な情報もあり、軽い気持ちの行動が思わぬトラブルにつながることもあります。

時々、「自分のタブレットだから自由に使ってもよい」と考える子供もいます。しかし、学校から貸与されている端末は、大切な教育活動の道具です。「自由」と「好き勝手」は違います。周りに迷惑をかけず、自分の行動に責任をもつことこそが、本当の意味での自由です。スポーツも同様です。サッカーや野球も、選手みんながルールを守るからこそ、公平に競技を楽しむことができます。

「きまり」や「ルール」を守ることは、先生に注意されないためではありません。自分を大切に、周りの人を尊重することにつながります。

これから子供たちは、さらに情報化が進む社会を生きていきます。そこでは、自分で判断し、ルールやマナーを守りながら行動する力が求められます。学校できまりを守る経験は、将来社会の一員として生きていくための大切な土台となります。

本校では、単にきまりを押し付けるのではなく、「なぜそれが必要なのか」を考えさせながら指導を進めていきます。一人一人が意味を理解し、自ら正しい行動を選択できるよう、ご家庭でもタブレットの使い方や学校での約束について話題にさせていただき、子供たちの健やかな成長を共に支えていただければ幸いです。



# 上湧別学園2回目の運動会

6日(土)運動会を実施しました。2回目となる今回は、徒競走の位置や呼名の仕方など、前年度から見直した部分もありましたが、子供たちは落ち着いて行動し、すべての競技を予定通り終えることができました。どの種目にも真剣に向き合い、それぞれが持てる力をしっかりと発揮していました。

とりわけ上級生は、全体を支えようと率先して動き、下級生が戸惑う場面でも根気強く寄り添ってくれました。その姿に刺激を受け、下級生の中にも「もっと頑張ろう」という気持ちが広がっていきました。こうした上級生の働きかけが学校全体に思いやりや感謝の気持ちを育ててくれたように感じます。

当日はご多用の中、多くの保護者の皆様に足を運んでいただき、心より御礼申し上げます。今年度は観覧場所の配置など、昨年度とは異なる点がありましたが、皆様のご理解とご協力のおかげで、円滑に運営することができました。また、温かい応援をいただいたことで子供たちはより自信をもって競技に臨むことができました。本当にありがとうございました。

主体的に動く姿や、仲間と力を合わせる姿が随所に見られ、学校全体の成長を感じる運動会となりました。今後も児童生徒のさらなる飛躍を期待しています。



